

☆公害による健康被害を許すな!
☆自然環境・生活環境の破壊を
許すな!



トキ
画:橋本正弘

大阪から公害をなくす会 ニュース

大阪から公害をなくす会

〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19

内本町松屋ビル10 370号

TEL 06-6949-8120

FAX 06-6949-8121

E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp

URL http://oskougai.com/

発行責任者 芹沢 芳郎

年間購読料一部2,000円(送料共)

郵便振替 00910-7-300387

原発をなくし、自然エネルギーへ 転換を求める 府民大集会

●日時 7月30日(土) 午後5時~6時

●場所 扇 町 公 園
(集会後、大阪市役所までパレード)

プレ学習企画

当日の午後1時半から国労会館3階ホール

①福井原発の現状とたたかいの報告 福井県の代表

②自然エネルギーへの転換をどうすすめるか 藤永のぶよさん



交流集会で訴える三輪富子さん

夜の日比谷公会堂
での集会では、宮城
県漁協の阿部力三郎
代表理事、福島農民
連の亀田俊秀さんが
震災と津波、原発事
故による人災に翻弄
される現場の生の声
を伝えました。南相
馬市の桜井勝延市長
からもメッセージが
届きました。会場は、
「被災地とともに」
の熱い思いに包まれ
ました。

公害被害者団体の力を結集し
て環境大臣に政府への申し入れ
を行うなど、「公害の根絶と被
害者の救済」を掲げて毎年実施
している第36回公害被害者総行
動デーが、今年は、東日本大震
災・福島原発事故被害者との連
帯を掲げて6月1日、2日の両
日行われました。大阪からは代
表59人が参加しました。

臣が出席することになっていた
会場に、予定時間前に松本龍大
臣(当時)が現れました。
ノーモアミナマタ訴訟の原告
団長・大石利生さんと嘉手納基
地爆音差止訴訟原告団の福地勉
さんが要請しました。
署名提出の後、近藤副大臣が
引き継ぐ形で交渉が進みました。
地球温暖化問題、環境アセス
メント制度、水俣病、大気汚染
と救済制度について要請した後、
嘉手納基地の爆音と東京の大気

被災地に寄り添って
大阪代表団は昼のデモ行進か
ら参加、その後各省庁に分かれ
て交渉に入りました。
対応について言及。「直ちに救
済制度をつくって対応する状況
にはない」とのべたことに、森
脇君雄代表委員が「納得できな
い」と反発し、副大臣も「本人
に責任のない問題は、政治が対
応しなければならぬ」と応じ
ました。

第36回公害被害者総行動 震災被災者と心ひとつに！

汚染公害の被害者が
訴えました。

近藤副大臣は、答
弁のなかで「そらプ
ロジェクト」調査結
果と環境省としての



東電本店前での要請行動

全国公害患者の会連合会の代
表として大阪の三輪富子さん
(大阪公害患者の会連合会副会
長)が被害の訴えと決意表明を
しました。

雨の中での 東電前 怒りの集会

二日目の各経済界との交渉は、
原発事故を受けて、東京電力に
対する要請行動が中心になりま
した。東京電力は、被災者の要
求に耳を傾けることなく、話し
合いを拒否、門前払いをするな
ど責任逃れに終始しました。私
たちは雨の中2時間30分にわた
る抗議集会を整然と行い、後日
代表が会うことを約束させまし
た。
(患者会・上田敏幸)